



令和6年度

介護労働講習（実務者研修を含む）

実施期間 6月18日～11月25日

（公財）介護労働安定センター

京都支部



修了おめでとうございます

Congrats



修了者へ贈る言葉

第12期介護労働講習修了生の皆さん、半年間にわたる介護労働講習を無事修了されたことをお慶び申し上げます。

就職活動中の方もいらっしゃると思いますが、多くの方が新たな職場で介護業務に取り組まれているのではないのでしょうか？

講習で身につけた知識や情報、スキルは活用されていますか？ それらに加え、新たな環境で皆さんは実務経験という新しい武器を日々身につけておられるところです。少しずつ職場で存在感を発揮していただき、将来の介護事業を中軸で支える人財になっていただくよう期待しております。

とは言え、悩んだり、困ったり、先が見えなくなったりすることがあると思います。そんな時は介護労働安定センター京都支部を頼りにしてください。一緒に歩いていきましょう。

京都支部長 緒方 隆治





講

習

風

景

開講式



人体構造の調査



チームワークの演習



レクリエーション



喀痰吸引



経管栄養



シーツ交換



立位変換



移動・移乗



ひげ剃り



手浴の演習



体位変換



着脱



爪切り



安全衛生の実際



障害者支援



介護計画書



介護過程Ⅲ



修了生講話



心肺蘇生



NHK 取材



合同就職説明会



接遇マナー



修了式





講習を終えて



今年は 29 名が講習を修了し、それぞれの道へ進んでいきました。
修了者の感想をご紹介します。

友

歳も性別も経験もバラバラな人が集まって最初はなじめるか不安でしたが、グループワークをするたびそれぞれ特技や視点の違いがあるため毎回学びにつながりました。また個人的な相談で人生経験が豊富な方からいろいろな話を聞かせてもらい、入講して良かったと思いました。ここで知り合った受講生とは、これからも同じ使命を持ち、成長できる仲間でありたいです。

越

介護に対する考え方が変わりました。自立と尊厳を念頭に置きながら利用者様の思いを聴いて、適切な介護をしていきたいと思えます。またすべての言動には理由があることも学びました今後の仕事に役立てていきたいと思えます。

楽

始まる前は、半年は長いと思いましたが、終わってみれば短くて足りないと思うこともありました。身内の介護での知識は、せまい世界で情報も古かったと実感しました。講師の方々の説明もわかりやすく、また今の実状を知りえた事も大変感謝しています。

学

何十年ぶりかの授業。1日5時間も座ってられるか、他の受講者と関係が作れるか不安でしたが、様々な視点の講習はわかりやすく楽しかったです。人間関係を作るのが苦手ですが、席替えやグループ分けがあり、いろいろな人と話ることができたのも良かったです。介護については崇高な理念から入って学ぶほどに自分にできるか不安でしたが、職業として誇りをもてる仕事だと思いました。

恵

50歳で講習に通い、見ず知らずの面々と一から勉強する機会、新しい知識、技術を得ること、一緒に学ぶ仲間、新しい未来…と、いろいろな恵をいただける良い講習でした。





協

毎週のようにテストに追われ、実技試験もあって想像以上にドキドキする日もありました。

でも講習を受け知識が増えてくると、親や前職の利用者にも知識を活かした支援をしたかったと強く想っています。そして一緒に学び協力してくれた受講生のみんなとの縁を大切にし、ここで経験したすべてを介護の場で活かしていきたいです。

縁

ありがたくも、受講できる機会に巡りあえたことに深く感謝しております。本当にありがとうございました。未熟ではありますが培ったことを活かし、目の前の一人を大切に、人の尊厳と幸福を願い、社会に貢献してまいりたいと決意しております。温かで思いやりのあふれた未来を創造してゆく人であり続けたいです。ありがとうございました。

人

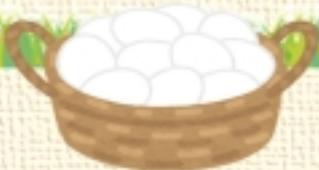
受講者も職員も講師の方もやさしくて楽しい方ばかりで良かったです。介護とは何かというところから始まり、気をつけるべきマナーや介護技術も多くを学びました。一人一人のケアについて考えていくには、その人らしさを大切にし、できないことだけを必要な時だけ支援することが重要だと学びました。

育

介護の理念、仕事について、テキストの分厚さにまずびっくりしましたが、様々な観点を多くの講師の方から教えていただいたことは貴重な体験であると同時に、教えていただいた知識や技術についてもレベルの高さに驚きの連続でした。これからの介護業界で現場、管理や経営の立場を担う人材を育てるという意味からは、利用者様の尊厳や自立を第一に考える意識を持った人材の育成と就業の機会の提供の場として、非常に有意義な講習に参加させていただき、感謝申し上げます。

経

あっという間に6カ月が経ちました。カリキュラムを見た時、試験はある、実技はあると大変そうと思いましたが、いざ始まると楽しい時間でした。特に認知症についての講習が良かったです。祖父が認知症になった時は、「なぜこんなことをするのだろう」と疑問に思ったり、嫌になったりしました。改めて勉強する機会を得て、認知症について知ることができ、「成程！」と思うと同時に、知らないことを知っていく楽しさがありました。今でも介護についてわからないことは山のようにあります。しかし、この介護労働講習を受講したことで、介護についてもっと知りたい、経験してみたいと思うようになりました。良き同期の受講生にも恵まれ、この縁を大切に、将来お互いの経験を語り合う機会があればと思います。





就職先を訪ねて



令和5年度 修了者 倉本 幸枝さん



Q 介護労働講習で学んだことは？

A 受講以前は良く知らなかった、社会保障制度、介護サービスの種類、社会情勢を知り、加齢や病気による症状や認知症について学びました。介護を受ける方にかかる、身体・精神面の負担や、周辺環境への影響など学べたことは、実生活においても、職場においても、大いに役立つことと思います。また、介護現場での実習や見学、合同就職説明会など、就労に向けたカリキュラムもしっかりと組まれており、自分の働き方や適性を考えることが出来ました。

Q 実際に介護の仕事に就かれた感想は？

A 実際の利用者様と接し、当初は自分を受け入れて下さるのだろうかと不安でしたが、その心配は無用でした。日々の業務や介助方法は、先輩職員が付き教えていただきながらも、あとは自分で実践を繰り返していく他なく、まだまだ未熟です。しかし、介護労働講習で講義や実技練習があったからこそ、その意味は理解しやすく、大きな戸惑いはないように思います。

Q 講習内容などについてのご感想は？

A 介護や福祉に携わる講師の方が、多面的に講義をしてくださり、介護分野で楽しく仕事をしていらっしゃる様子が、先生方から垣間見えました。体験談を交えての講義はとても興味深く、介護サービスを受ける方の思いを知り、人との関わり方について考える機会となりました。講習ではグループワークもあり、意見を交換する、皆で作り上げる、実技の練習をするなど、しんどく思うときもありましたが、就労し、チームの一員として働くのに、とても勉強になったと思います。

Q これから受講される方へメッセージをお願いします

A 色んなバックグラウンドを持った、幅広い年齢の方が集まり、一緒に勉強できるのは、稀有な機会です。受講生各々のこれまでに話の伺えたり、初めての介護職に向けて悩みや不安を共有出来たり、この場所であったからと思います。介護分野について勉強すること以上のプラスαの感動を経験できると思います。





事業主様から一言

介護老人保健施設フェアウインドきの

事務長 宇都宮 将征 様

Q 普段の仕事ぶりはどうですか？

A 倉本さんは常に積極的に仕事に取り組み、どんな業務にも前向きに挑戦しています。昨年、5年ぶりに開催した施設のお祭りでも、入社後9か月で司会をしていたのを見て、ビックリしたのを鮮明に覚えています。また、常に利用者様一人ひとりの状況に気を配り、細やかなケアを提供してくれます。特に、認知症の利用者様への対応においては、落ち着いた声かけや、安心感を与える態度が利用者様に大変好評で、倉本さんの仕事に対する姿勢は他の職員にも伝わり、現場全体の成長に繋がっています。

Q これから受講される方へメッセージをお願いします

A 介護業界は、ますます重要性が高まっている分野であり、そこで働く皆さんの役割は非常に大きなものです。介護の仕事は、単に技術を学ぶだけでなく、心温まるコミュニケーションを通じて、利用者様の生活を支える非常にやりがいのある職業です。介護労働講習は、皆さんが介護業界で活躍する大きな一歩となります。たくさんの仲間と学びあい、介護に関する理解を深めてください。そして、自分自身の成長を実感しながら、最終的には自信を持って介護現場で働ける知識・技術が介護労働講習で得ることが出来ます。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

この講習では、介護職に必要な基礎的な知識から、実務に役立つ技術まで、さまざまな内容を学んでいただきます。専門的なスキルを習得するだけでなく、介護の現場で働く上で必要な心構えやコミュニケーション能力を身につけることができます。また、講習を通じて新しい仲間と出会い、お互いに励まし合いながら学びを深めていくことができるでしょう。

